

自治連
かぬま

第28号

発行 鹿沼市自治会連合会
編集 同 広報部会
事務局 市民部協働のまちづくり課内
(☎ 六三―二二六〇)

謹賀新年



鹿沼市自治会連合会

会長 小林 俊 明

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、夢と希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、昨年中は、皆様のご理解とご協力をいただきながら、自治会連合会活動を推進できたことに對しまして、深くお礼を申し上げます。

今年は巳年ですが、蛇は脱皮することから「復活と再生の象徴」とされ、「新しい挑戦や変化に對して前向きな姿勢を示す年」とも解釈されております。昨年は鹿沼市では松井新市長が誕生し、まさに新しい変化

が起こりそのような年を迎えました。自治会連合会としましては、この新しい変化に對して、前向きな姿勢で活動に取り組んでいきたいと考えております。

昨年は元日から能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。そして、鹿沼市におきましても八月二十六日の大雨により災害が発生しております。災害はいつ発生するかわかりません。他人事とは思わずに、防災意識をより一層高くして、常日頃から災害に備えた自助・共助の体制を、各地域で構築することが重要であると思います。

私たちが住む地域をより暮らしやすくしていくためには、そこに住む人たちが地域のことを考え、お互いに協力していくことが大切です。そのためにも、住民の皆さんのご協力をいただきながら、各種事業を展開してまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

また、近年は、鹿沼市全体で自治会加入

率が低下しており、自治会の役割意識が薄れていく傾向にございます。そのようなことから、鹿沼市自治会連合会では、加入促進特別委員会を立ち上げ、調査、研究に取り組んでいるところでございます。

自治会連合会といたしましては、多くの方々に自治会に加入していただき、地域住民が共に話し合える環境作りや、より良い地域づくりのための会議や研修会を実施し、自治会活動の一層の充実や継続に尽力したいと考えております。こうした活動を通じて、地域住民が寄り添い、支え合う地域の絆を深めてまいりたいと思っております。結びになります。本年が皆様にとりま一年となることをご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

地縁による団体功労者総務大臣表彰

○三幸町 吉井 和夫会長

栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰

○千 渡 人見 功会長

○旭が丘 阿部 守会長

○泉 町 渡邊 義夫前会長

多年に渡り自治会活動に尽力し、その功績が特に顕著な方に対し、表彰されるものです。

誠におめでとうございます。

会活動報告

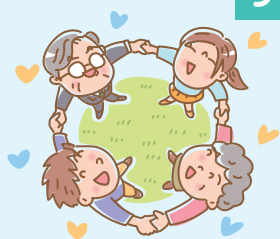
7月23日～24日 役員研修（神奈川県小田原市ほか）

小田原市自治会総連合の活動と小田原市の取り組みを研修しました。

小田原市では、小田原市市民活動推進条例を制定、小田原市地域コミュニティ組織基本指針を定め、市内の地域活動団体が連携し、シンポジウムを開催する等、横のつながりが強化されており、地域活性化に一丸となって取り組まれていることが伝わりました。



9月10日 地域包括ケアシステム、コミュニティ・スクール研修会



社会部会にて、勉強会を開催しました。

地域包括ケアシステムの講義では、高齢者が住み慣れたまちで自分らしく暮らしていけるように、お互いが気かけあいながら、助け合いの方法を地域で考えていくことの重要性を学びました。コミュニティ・スクールの講義では、地域の子もたちや環境をよく知る様々な地域の方達が、自分事として学校運営の事を話し合う協議の場の重要性を学びました。

11月6日～7日 会長全体研修（宮城県栗原市ほか）

一般社団法人はなやまネットワークを視察しました。

地域課題解決のため任意団体を法人化し、市施設の指定管理者として契約することで、移住者の仕事の提供や、地区住民で構成された空き家片付け隊が空き家を片付け、利活用するなど、地域の活性化に一丸となって取り組んでいます。

先進的な事例を視察し、地域活動の重要性を再認識することができました。



11月18日 施設見学会（足利市松田川ダムほか）



生活環境部会が毎年主催する施設見学会において、今年度は、足利市の松田川ダム及びダム下流に位置するキャンプ場であるReCAMP 足利を一体的に視察しました。

観光的な側面からダムを活用し、民間活力を導入しつつ、市内外からの誘客を図る取組を肌で感じることができ、大変貴重な体験となりました。

12月3日 防犯・防火診断

犯罪や火災などが多くなる年末年始に向け、住民の防犯・防火に対する意識向上のために地域に見せる活動として、防犯協会・市・消防・消防団の皆さんとともにパトロールを行いました。市民情報センターを出発し、鹿沼相互信用金庫本店やビバホーム等を巡回しながら、防犯・防火対策の実施状況を確認しました。



自治会連合

11月25日 中学生との意見交換会（板荷中学校）

昨年に引き続き広報部会では中学生との意見交換会を開催しました。今年度は板荷中学生9名と広報部会員6名、地区協議会から板荷1区、3区、7区の自治会長とで意見交換を行いました。

今回は、「鹿沼の特産物のPRは何をしたらいいと思いますか?」、「中学生から見た理想の自治会とはどういった自治会ですか?」の二つのテーマについて3班に分かれて話し合いました。

今年は、意見交換の前に、中学生に自治会はどんな活動をしている組織なのかを知ってもらうため、初めて部会長から自治会活動について説明する時間を取り、意見交換会後にアンケートも実施しました。アンケート結果からは、自治会活動に対して、前向きな意見が多く見られました。

鹿沼の特産物のPRは何をしたらいいと思いますか?

- ・ふるさと納税を活用して鹿沼のまだ知られていないものを発信
- ・地元の人にも理解しやすく宣伝
- ・特産物でスイーツを作る
- ・テレビ局に協力を求めて情報を発信
- ・特産物を使用したレシピを作成
- ・公式 SNS で発信、継続的に更新していく
- ・Instagramやショート動画で鹿沼の魅力を発信
- ・ポスターの作成、貼り出し

中学生から見た理想の自治会とはどういった自治会ですか?

地域 みんなが仲良く協力できる関係を作るための架け橋となる自治会

課題：人口減少、高齢化、災害対策の力を向上させる

どうしたらいいかな?

- ・地域や若い世代の意見を取り入れるためのアンケート
- ・地域での防災訓練等で若者と地域との交流
- ・幅広い世代が楽しめるイベント
- ・自治会内での話し合いを沢山して意見を取り入れる

意見交換会後、中学生にお願いしたアンケート結果

1. 意見交換会前後で、あなたの自治会に対する理解度はどれくらい変わりましたか?

	大きく変わった	少し変わった	変わらない	全く変わらない	わからない
回答数	4人	5人	0人	0人	0人

2. 意見交換会に参加して、自治会の活動に興味を持ちましたか?

	とても興味を持った	少し興味を持った	持たなかった	全く持たなかった	わからない
回答数	4人	5人	0人	0人	0人

3. 今回のような意見を伝える機会があると知ったら、積極的に参加したいと思いますか?

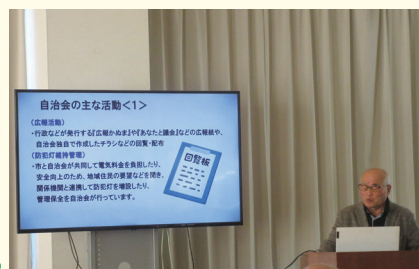
	とても思う	少し思う	思わない	全く思わない	わからない
回答数	6人	3人	0人	0人	0人

4. 自治会活動で何が重要であると感じましたか。(複数回答/上位3位)

順位	活動内容	回答数
1	広報活動（回覧・配布等）	6
2	小中学校連携（環境整備への協力等）	5
2	親睦活動（お祭り等の各種活動）	5
3	行政との連携（調査・回答や情報周知への協力等）	4
3	町内・地域内各種団体支援（育成会・地元消防団・青年会等）	4

5. 自治会地域活動をこうしたらいいのと思う事は? (抜粋)

- ・引き続き地域のために活動を続けてくれたら嬉しいです。
- ・幅広い世代が楽しめるイベント等の開催（中学生と協力して）
- ・その地域に住む幅広い年齢層の人々で話し合う機会を増やす。時間をたくさんとる。
- ・僕は自治会地域活動でポスターを作ったり、有名な物を広めていくなどの工夫をして、鹿沼をもっといい地域にしたいです。



自治会協議会紹介

加蘇地区

人口・・・一、五七四人
世帯・・・六二八世帯
自治会・・・六単位自治会（野尻・加園・加園上
下久我・上久我第1・上久我第2）

地区の特徴

市の北西部に位置し、山々に囲まれたのどかな田園風景が広がる中山間地域です。

日光連山や足尾の山々を望む石裂山は、勝道上人の開山と伝えられ、古くから「おぞく信仰」の山として知られています。

登山道には鎖や梯子等が設置され、本格的な登山が楽しめる山として人気があり、多くの登山客が訪れています。

協議会等の活動

当協議会は、地区内の各種団体と連携し、地域コミュニティづくりを進めています。特にふるさとづくり協議会では、様々な年代の会員がSNSで地域の魅力を発信したり、イベントを開催して交流人口の増加を図っています。今年度は新たな試みとして、ソバの手刈りから天日干し、くるり棒での脱穀など、昔ながらのソバの収穫体験事業を実施しました。インスタグラムや県の体験募集サイトを活用し、県内外から集まった多くの参加者と交流を深めることができました。

そのほか消防団とも協力しながら、寄栗の大滝への遊歩道整備も行なうなど、様々な活動を通じて加蘇地区の魅力向上に努めています。

今後とも地域一丸となって加蘇地区の絆を深める活動を支援してまいります。



▲大滝遊歩道整備作業



▲くるり棒でのソバの脱穀

粕尾地区

人口・・・一、二二九人
世帯・・・四七五世帯
自治会・・・三単位自治会（下粕尾中粕尾上粕尾）

地区の特徴

市の西部に位置し、県道鹿沼足尾線に沿って、東西に細長い地形で、西は日光市足尾地区に接しています。

地区に沿って流れる思川は、夏は鮎釣りを楽しむ人で賑わい、最上流の横根高原には、井戸湿原が広がり、来訪者を楽しませてくれます。

また、国指定重要無形民俗文化財の「発光路の強飯式」など、古くから伝わる伝統・文化を大切にしている地域です。

協議会等の活動

当協議会では、各種団体と連携を図りながら地域のコミュニティづくりを進めています。

主な事業として、敬老会の運営実施や移送サービス等の福祉的事業への積極的な協力を行っております。

また、近年の大きな気候変動における災害等の防災対策については当協議会を始め地域住民、各種団体と連携を密にし、対策に当たっています。

今後とも地域住民、各種団体と協力し、様々なコミュニティ活動を推進し、相互に助け合う、住みよい地域づくりを目指していきます。



▲十三夜のわら鉄砲



▲発光路の強飯式